

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ツインレイズ		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 23名
○従業員評価実施期間	2026年1月5日		～ 2026年1月30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムの実施	支援プログラムを「ミッション」と称して、一人ひとり毎回必ず実施している。	「ミッション」のバリエーションを拡大させる。 「ミッション」の意図を保護者へ伝える回数や方法を増やす。
2	保護者との情報共有でのSNSの活用	プログラムの取り組み状況や、その日の活動を写真や動画で保護者にお知らせする。	プログラムの意図や進捗状況などのコメントの充実を図る。
3	毎月の「ツインレイズ便り」の発行や、機会を捉えてのアンケート実施	「ツインレイズ便り」では、事業での取り組みの内容を伝え、家庭との連携が図れるようにしている。 アンケートで保護者の評価や希望を募る。	保護者からの提案や希望の具現化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援としての保護者会等実施	開催場所の確保 保護者のニーズの把握 感染症対策のため、参集しての行事を回避	保護者のニーズ把握のアンケートの実施 少人数での開催 平日と休日の選択肢の提示
2	地域の児童発達支援センターとの連携	児童発達支援センターの役割、活動内容の認識不足	定期的な情報提供の機会を増加させる 営業時間内・外の研修受講を可能にするための人員配置の工夫
3	外部との交流	広範囲の情報収集不足 感染症対策のため、参集しての行事を回避	情報収集の拡大 対象地域の拡大 イベント参加、見学会、体験会への参加